

2020年度「多様な場と学びの研究会」
第2回勉強会（全3回）

『食糧危機を考える』 -私たちはどのように備えるべきか-

2020年12月13日(日) 10:00-12:00
オンライン (zoom)

近年、気候変動の激しさが増し前例のない自然災害被害、サバクトビバッタ被害、新型コロナウイルスによる脅威によって私たち人類の生活が大きく影響を受けている中、食糧危機の脅威が存在しています。様々な情報が溢れる中、現時点における気候変動の状況、食糧危機に見舞われる原因とその可能性について講師からお話を伺い、どのように危機に備えることができるのか議論します。

今回の勉強会では、各参加者が食糧危機についての情報を持ち寄り、リスクマネジメントの専門家である指田先生より、食糧危機が発生する原因と現在の状況、どのように備えるべきか、お話を伺い私たちに何ができるのか議論する場としたいと思います。

講師：

指田 朝久 教授

立教大学21世紀社会デザイン研究科客員教授

東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 主幹研究員

対象：研究会会員、会員紹介者（研究科院生、学部生、一般）

定員：20名（定員になり次第締切）

費用：無料

方法：ZOOM（趣旨説明、講演、フリートーク）によるオンライン勉強会

・ZOOMアプリをインストール済のPCまたはスマートフォンなどが必要です

・録画を予定しています

（録画資料は報告書の作成・広報などに活用させていただく場合がございます）

事前学習：食糧危機について各自インターネットや書籍などで情報収集

・情報内容については簡単なものでも何でもご自身の興味の範囲で結構です

申込：事前に tayounabatomanabi@gmail.com までメールでお申込みください

・会員紹介者の方は、申込の際、「氏名」「メールアドレス」「紹介者氏名」を明記ください

・申込された方には、後日視聴URL・ID・パスワードをメールにてご連絡いたします

主催：立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科社会デザイン研究所
多様な場と学びの研究会 研究員 石崎・高瀬・長澤